サンヨーパッケージエアコン用

パン型加湿器取扱説明書

RH-K3N，-K4N，-K5N，K6N

お使いになる前に必ずお読みください。

RH-KN 型加湿器はスケール付着による種々の問題を5時間タイマーによる自動洗浄機構により軽減しておりますが，1年又は1400時間のいずれか先に経過した時ごとに，1回メンテナンスをしてください。

＝ご 注 意＝

本加湿器はパッケージ型空調機組み込み用として設計されたものです。

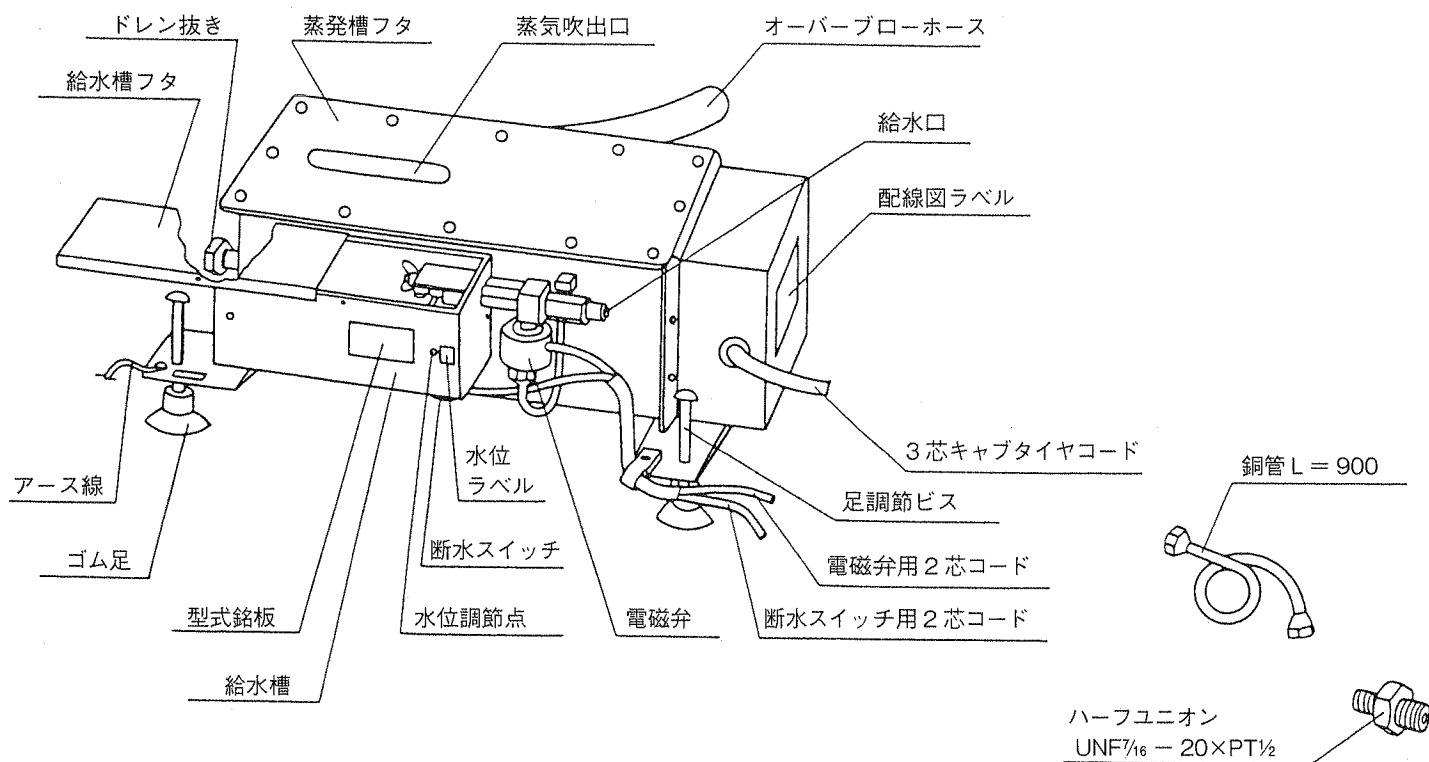
特殊用途にご使用の場合は当社へご確認の上，ご使用ください。万が一特殊な使い方をされ事故に到った場合は責任を負いかねます。

尚，特殊用途に対しての加湿器は各種用意しておりますので，ご入用の際は当社にご連絡ください。

◎コントロールBOXは専用のものを使用しないと著しく寿命が低下します。

目　次

1．製品仕様

各部の説明

仕　　様

型　　　　式		RH-K3N	RH-K4N	RH-K5N	RH-K6N
加湿能力［kg/h］		3.9	5.2	6.5	7.8
電気特性	電力［kW/h］	3	4	5	6
	電　圧［V］	3P　200V			
	電　流［A］	8.7	11.6	14.5	17.4
	結　線　方　法	△			
寸法	長　さ［mm］	371	501		
	奥行き［mm］	192			
	高　さ［mm］	175			
製品重量［kg］		4.6	5.8	6.3	
安全装置	1　次	断水スイッチ　水位低下による操作回路OFF			
	2　次	サーマルカットアウト　150℃ ± 15℃にて主回路しゃ断			
	3　次	温度ヒューズ　119℃にて主回路しゃ断			
付属品	1	取扱説明書（本書）　1部			
	2	鋼管φ6（フレアーナット付）L=900 mm　1本			
	3	ハーフユニオン　UNF 7⁄16 × PT ½　1個			
	4	コントロールボックス（5時間タイマー組込み型）　1個			
	5	操作コード2芯× 1.7m　1本			
	6	取付金具　左右　各1個			
	7	取付用板（RH-K3Nのみ）　1個			
	8	φ4×8タッピンネジ（RH-K3Nの時）（1個予備）　15個 φ4×8タッピンネジ（RH-K4N ～ K6Nの時）（1個予備）　13個			
備考		湿度調節器は，現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。			

2. 取付方法

据付け方

AIR FLOW

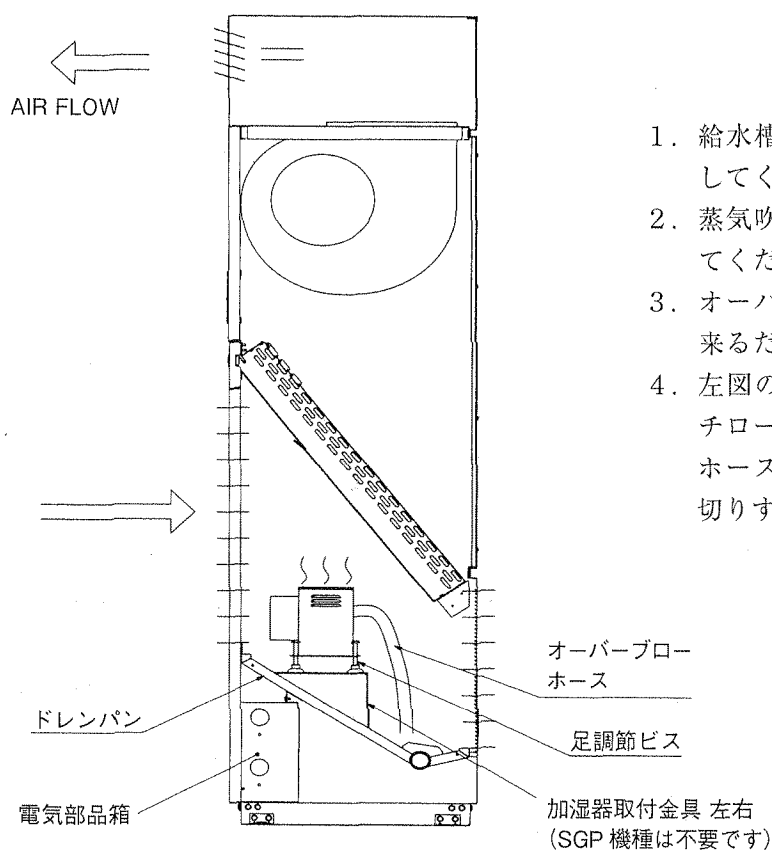
オーバーブロー
ホース

ドレンパン

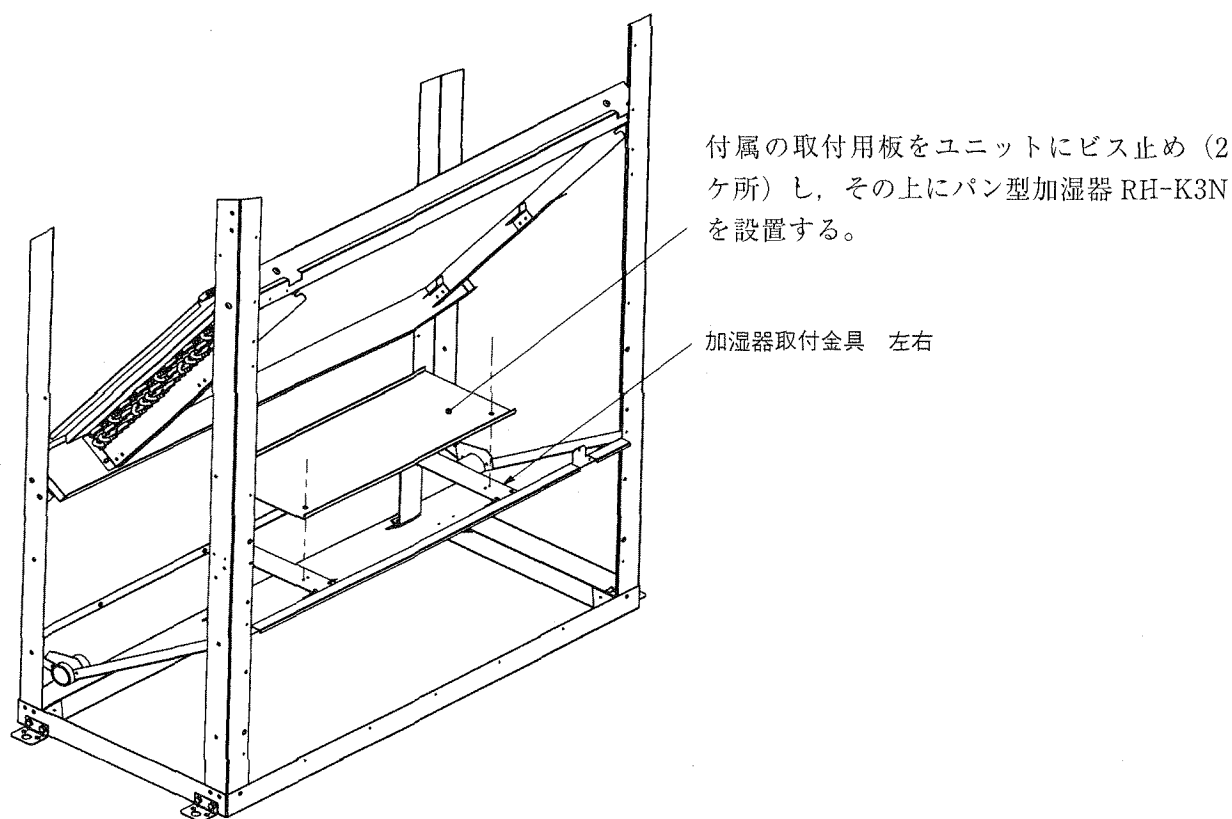
足調節ビス

電気部品箱

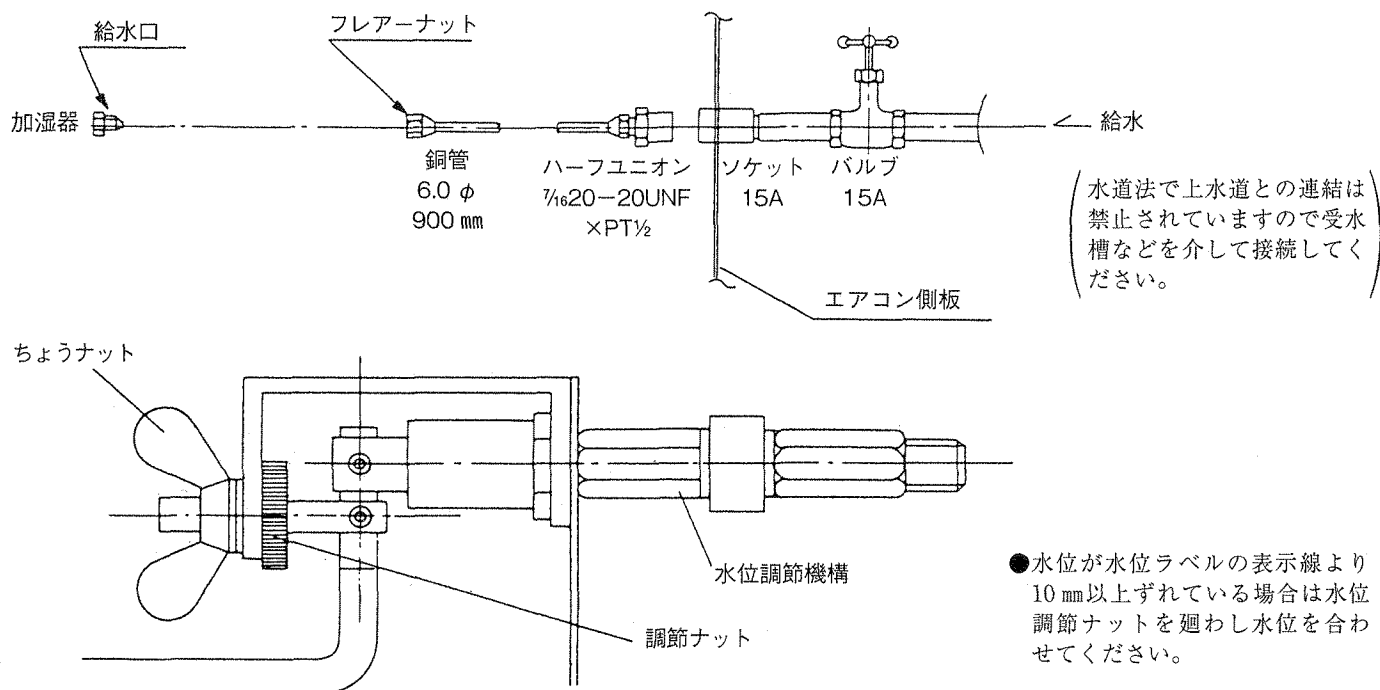
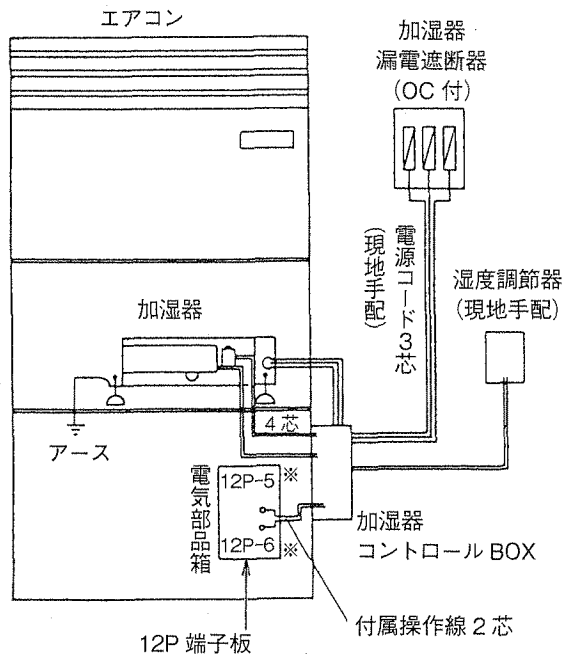
加湿器取付金具 左右
(SGP 機種は不要です)

1. 給水槽を手前にし，足調節ビスを廻わし水平に設置してください。
2. 蒸気吹出口から障害物までは出来るだけ距離を取ってください。
3. オーバーブローホース出口はドレンパン排水口に出来るだけ近くに置いてください。
4. 左図の様に配管が終わりましたら，フロート押えスチロールをはずし給水させてください。
   ホースは折り曲げ部をなくすようにして余長部分は切りすててください。

SPW-140 形，SPW-224 形への RH-K3N 取付け

付属の取付用板をユニットにビス止め（2 ケ所）し，その上にパン型加湿器 RH-K3N を設置する。

加湿器取付金具　左右

配管方法

（使用範囲）	補給水温	0℃～80℃
	水圧	29～490kPa

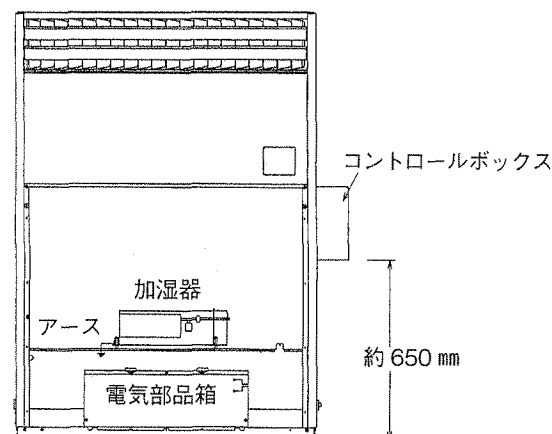
※水質が悪い（総硬度100ppm以上）ところは軟水器をご使用下さい。

電気配線

※一部の機種は端子番号が異なります。
湿度調節器は，現地手配です（加湿し過ぎによる水漏れ防止の為必要です）。

※電源に漏電遮断器を設置してください。

1．付属のコントロールボックスをエアコン側板にビス止め固定してください。
2．右のページ配線図の様に間違いなく配線してください。
電源電線は加湿器容量により異なります。
下表により行ってください。
3．アースを必ずお取りください。
RH-K3Nは取付用板に，RH-K4N～K6Nは取付金具に，それぞれアース線を接続してください。
4．電線接続ビスにゆるみがないか確認し，絶縁抵抗を測定してください(1MΩ以下は不良です)。

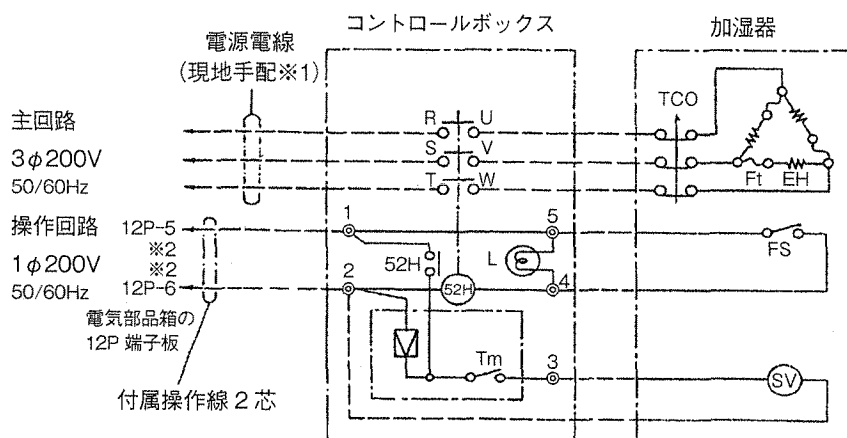
型式	電力 [kW]	定格電流 [A]	最大電流 [A]	電源配線太さ	電線こう長 [m]	アース線太さ	漏電遮断器(OC付)	
							過電流遮断容量	定格感度電流動作時間
RH-K3N	3	8.7	10.1	φ 1.6 ㎜ (2.0 ㎟)	24	2 ㎟以上	20[A]	30mA 0.1sec以下
RH-K4N	4	11.6	13.4	φ 1.6 ㎜ (2.0 ㎟)	18		20[A]	
RH-K5N	5	14.5	16.7	φ 1.6 ㎜ (2.0 ㎟)	14		20[A]	
RH-K6N	6	17.4	20.1	φ 1.6 ㎜ (2.0 ㎟)	12		30[A]	

・電源は，三相200Vです。最大電流は，電圧＋10%で電力公差＋5%の値です。
・電線こう長は，電圧降下4Vの時です。

コントロールボックス取付位置

アースの接続：
RH-K3N は取付板に，RH-K4N～K6N は取付金具に，それぞれアース線を接続してください。

配 線 図

注）電磁弁は5時間ごとのオーバーブローのためのもので補給水用ではありません。
　　番号1，2，3，4，5はコントロールボックス内の端子番号です。

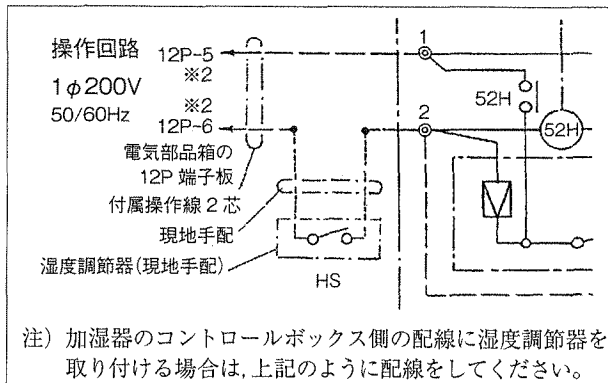
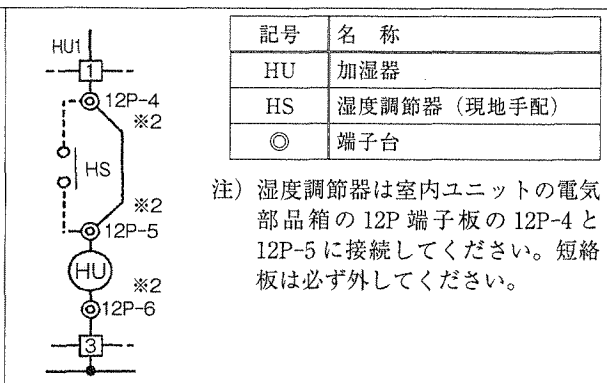
①湿度調節器を使用しない場合の配線方法

記号	名称
52H	電磁接触器
Tm	洗浄タイマー
L	断水表示灯
◎	端子台
SV	洗浄電磁弁
FS	断水スイッチ
TCO	サーマルカットアウト
EH	ヒータ
Ft	温度ヒューズ

・SV, FS, TCO, EH, Ft は加湿器に内蔵
・◄---- の回路は現地施工

※1　電源電線（φ 1.6 ㎜又は，2.0 ㎟。最大こう長は3ページの表による。）は，丸形端子（2-M4 又は，2-3.5）にて，コントロールボックス内の電磁接触器（端子ネジ：M3.5）に，接続してください。

②湿度調節器を使用する場合の配線方法

■加湿器用コントロールボックス側の場合　　■室内ユニット電気部品箱側の場合

記号	名　称
HU	加湿器
HS	湿度調節器（現地手配）
◎	端子台

注）加湿器のコントロールボックス側の配線に湿度調節器を取り付ける場合は，上記のように配線をしてください。

注）湿度調節器は室内ユニットの電気部品箱の 12P 端子板の 12P-4 と 12P-5 に接続してください。短絡板は必ず外してください。

※2　一部機種は端子番号が異なります。

3. 試運転

“据付－配管－電気配線”が終われば工事は完了です。

＝試運転の順序＝

1. 加湿器電源開閉器をONにする。
2. エアコンのリモコンの［点検］ボタンを4秒以上押してから，［運転／停止］ボタンを押してください。
   - ・試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。
   - ・“試運転”モードでは温度調節は出来ません。
     （機器に無理が掛かりますので試運転以外は使用しないでください。）
3. 加湿器の“試運転”は暖房モードでご使用ください。
   注）電源投入後，および運転停止後約3分間，室外ユニットは運転しません。
4. 湿度調節器を設置している場合は設定をON（100% RHの方向へ）にする。
5. 加湿器の蒸気吹出口から蒸気が出るか確認する（5～10分ぐらいかかる）。
6. 蒸気が出ず蒸発槽が冷たければ故障のチェックを参照。
7. 蒸気が出れば確認完了です。
   ※湿度調節器を設置している場合は設定を適正な湿度（30%RH～50%RH）にセットしてください。
8. 試運転終了後は再度［点検］ボタンを押して液晶表示部の“試運転”の表示が消灯することを確認してください。
   （このリモコンは連続試運転を防止するために，60分タイマー試運転解除機能付になっています。）

※正常に試運転が出来ない場合には，リモコン液晶表示部に記号表示されます。
室外ユニットに付属の“試運転担当の方へ”の自己診断機能表を参照して修正してください。

※水位制御はフロートバルブ方式で，たえず蒸発する分だけ補給しています。

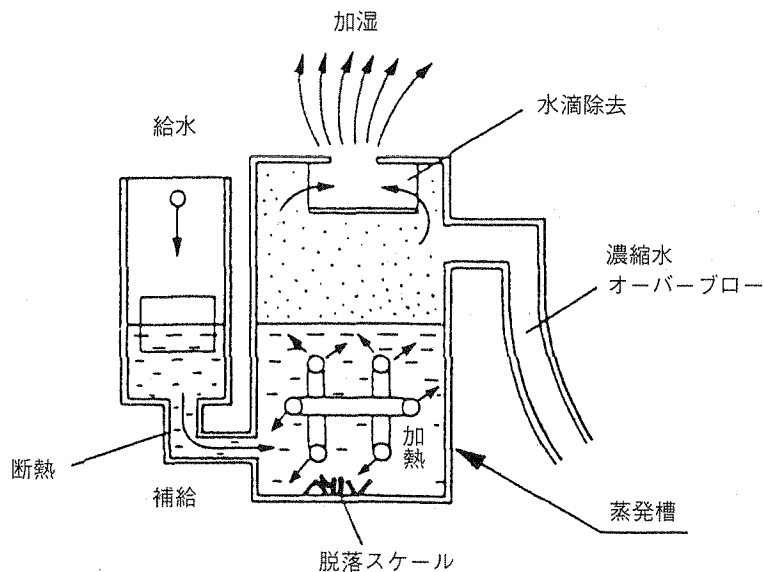
※湿度調節器を設置する場合は，取付高さ1～1.2mが良く，隙間風，直射日光，吹出空気の当たる場所は避けてください。
加湿器は湿度調節器の信号により，運転－停止しますので，湿度調節器の設置位置を検討してください。

4. 保守

故障のチェック

故障点	チェック項目	処理方法
加湿しない	1. 湿度調節器がOFFになっていないか 2. 給水バルブが開いているか 3. 配線ミスがないか 4. オーバーフローしていないか	ONさせる バルブを開ける 配線図確認 電磁弁確認
水がもれる	1. 水位調整に狂いがないか 2. 配管接続部がゆるんでいないか 3. オーバーフローホースに折れはないか	フロートバルブ確認 接続部確認 ホース確認
加湿量が少ない	1. 欠相していないか 2. 電磁弁が開いていないか（電磁弁ゴミつまり）	電流確認 電磁弁確認　フィルター掃除
うなりがする	1. 電磁接触器のうなり 2. 電磁弁のうなり	電磁接触器確認 電磁弁確認
その他	もよりの営業所にご連絡ください。	

温度ヒューズが動作した場合は加湿器は再使用出来ません。
サーマルが動作している場合は原因を取り去りリセットしてください。
この際電源は必ずOFFしてください。

掃除・点検

(掃除の方法)
蒸発槽フタをあけ，ドレン抜きから
脱落スケールを排出してください。

本加湿器は加湿運転が合計5時間に達すると自動的にオーバーブローし，濃縮された水を排出させ，スケールの発生を抑制させております。しかし，スケールの付着は完全にはなくなりません。

この為，1シーズン（1400時間）に1回ぐらいは掃除をしてください。又，同時に絶縁抵抗を測定し問題ないか確認してください。

※長期に亘りご使用されない場合は，水を抜いてください。

サービスパーツ

下記のものが部品として用意されております。

番号	部品名	部品番号	部品コード	ロケーション No.
1	フロートバルブセット	30637	623 303 0913	766-9-0150-00001
2	電磁弁	31164	623 303 0606	766-9-0150-00002
3	オーバーブローホース	30569	623 303 0890	766-9-0150-00003
4	吸着ゴム足	30249	623 303 0883	766-9-0150-00004
5	蒸発槽フタパッキン	30828（K3N 用）	623 303 0876	766-9-0150-00005
		30805（K4N～K6N 用）	623 303 0869	766-9-0150-00006

お客さまメモ

お買いあげの際に記入しておきますと、修理などを依頼される時便利です。

品　　番	
据付年月日	年　月　日
お買いあげ販売店名	電話番号　(　　)

三洋電機株式会社